

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第5節 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	1-家庭教育支援体制の充実

施策の内容	目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取組みます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	家庭教育学級の実施回数	10回
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	2回			
	(2)				
	(3)				
	(4)				

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	833	64	0	0	0	64

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、各種事業の中止または方策の変更を余儀なくされた。 ・各小中学校PTAでは家庭教育学級を開催できなかったが、町PTA連合会主導により2校合同のオンライン講座を開催した。 ・就学時健診時に併せた「親の学習子育て講座」を開催できなかったが、対象保護者へ子育てに関する資料を配付した。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・南部・中部地区は少子高齢化が進んでおり、北部地区は子育て世代の転入が弱まり、児童・生徒数の減少傾向を見せている。 ・共働き家庭が多く、平日の日中に開催する事業は参加者が思うように集まらない。
	住民ニーズの変化について	・各校PTAにおいて、運営形態の改善が積極的に行われている。
	展開した事業は適切であったか	・新型コロナウイルス感染症対策のため対面方式ではなく、オンライン開催、YouTube配信は適切な方策と言える。
	施策を達成するうえでの障害について	・新型コロナウイルスが収束に向かわない限り、従来の対面方式による事業実施は難しい。

次年度以降における施策の具体的な方向性	・コロナ禍における事業方策として、オンライン開催・YouTube配信を推奨していく。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA連合会が家庭教育学級を主催することにより、事業の効率化・予算軽減が図られた。 ・現在の社会環境に対応した取組をしている。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第5節 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	2-地域の教育力の向上

施策の内容	目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取組みます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	成人式の出席率	75.5%
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	66.8%			
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,701	1,755	0	0	0	1,755

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、成人式会場を2か所で2回ずつ挙行した。新成人者の門出を祝福するとともに、新成人者自身が社会の一員として権利・義務の責任ある行使と、独立した個人としての誇りを認識する良い機会となった。該当者533名に対し、356名の出席者であった。 ・社会教育関係4団体に活動費の補助金を交付したが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の制限を受けた団体があった。 ・町地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会では新型コロナウイルス感染症対策のため、部会によっては活動制限を行った。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・新型コロナウイルス感染症が終息に向かうまで、これまでの活動形態を大幅に見直していかなければならない。
	住民ニーズの変化について	・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業・活動の有無を対象者だけでなく地域住民も注目するようになった。
	展開した事業は適切であったか	・成人式実行委員会を前倒しで開催し、新成人者のニーズを取り入れた上で、感染症対策を講じて適切に実施した。 ・各事業内容を精査し縮小、対面会議(屋内活動)を避けられる活動は書面方式を活用した。
	施策を達成するうえでの障害について	・新型コロナウイルス感染症が終息に向かうまで、従来の活動を維持・継続することは難しい。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人者の意見を取り入れ、新型コロナウイルス感染症対策を講じて成人式を開催していく。 ・式場における新成人者の迷惑行為予防のための注意喚起を積極的に行い、式終了後は速やかに解散するよう促す。 ・社会教育関係団体と連携して各団体の後継者育成の方策強化を図る。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	・以前は町予算から新成人者全員に対し記念品を差し上げていたが、寄付金を活用して抽選会を開催することにより、歳出を大幅に削減した。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第5節 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	3-学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

施策の内容	目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取組みます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	WaKu楽体験教室参加人数	300人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	74人				
(2)						
(3)						
(4)						

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	833	64	0	0	0	64

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室と子ども防災教室は事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により中止した。 ・WaKu楽体験教室を、感染症対策を講じ例年の半分以下で募集、10教室15回を開催し、延べ参加人数74人であった。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・新型コロナウイルスの影響により、従来の家庭教育学級を見直す良い機会となった。
	住民ニーズの変化について	・各校で対面方式で実施していた家庭教育学級を、コロナ禍において2校合同でオンライン開催するといった工夫が見られた。
	展開した事業は適切であったか	・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、可能な限り事業を実施した。
	施策を達成するうえでの障害について	・コロナ禍において各種事業を実施するためには、学校と地域の方々の協力・理解が必要である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、各種事業を対面方式で実施するだけでなく、関係者の協力を得てオンライン開催やYouTube配信などを行う。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	・町民ニーズを取り入れ事業の見直しを積極的に推進し、効果的かつ効率化を図っている。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	1-学び合いの生涯学習の推進

	目指す姿	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が生まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
施策の内容	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組めます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実に努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

	指標名	目標(令和6年度)
(1)	学校開放講座の参加者満足度数(理解度数)	65.0%
(2)	人口1人当たり貸出冊数	5.50冊
(3)		
(4)		

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
(1)	75.3%				
(2)	2.83冊				
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	144,775	143,440	0	0	17,135	126,305

今年度の施策達成度	B	<p>A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)</p> <p>B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)</p> <p>C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)</p>
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい活動センターは、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期の事業を自粛したが、下半期は感染症対策を講じて可能な限り事業を実施した。 ・学校開放講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため後期のみ開催となり、9講座開催し、参加者は299名であった。感染症防止対策を行い、満足度の高い講座を開催することができた。 ・公民館講座より新たに2団体のサークルが発足し、高齢者等の生きがいづくりにつながっている。 ・パソコン寺子屋は10月より実施し、パソコンを学び疑問を解決する場・住民交流の場となった。 ・図書館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、安全に運営することができた。

施策を取り巻く環境の変化について		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に向けて、高齢者の社会参加・生きがい対策として、学習の場や学習成果を発表する場を充実させる必要がある。 ・高齢化によりサークル等団体の存続が難しくなっている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮しつつ事業を行う必要がある。
住民ニーズの変化について		<ul style="list-style-type: none"> ・国際化や情報技術の発展により、住民の価値観や情報ニーズも多様化・高度化している。
展開した事業は適切であったか		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の懸念があったが、対策を行い安全に事業を行うことができた。 ・公民館講座や学校開放講座のアンケートでは高い満足度となっていることが窺える。
施策を達成するうえでの障害について		<ul style="list-style-type: none"> ・多様化・高度化するニーズを適切に把握し、事業の検討につなげる必要がある。 ・サークル等の団体に若年層の方も参加してもらえる仕組みづくりをする必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した事業展開が必要である。

次年度以降における施策の具体的な方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果や他市町村の事業事例を研究し、事業内容や安全対策について研究する。 ・図書館・ゆめくるにおいては、施設の老朽化に対する適切な修繕を行うことが必要となっている。 ・個人学習で終わるのではなく、サークルの立ち上げの働きかけや指導者の育成につながるよう支援を行う。 ・広報紙、ホームページ、町SNS等を活用し、幅広い年代に向けて事業の周知を行う。また、応募方法についても簡便化を図る。
---------------------	--	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館とゆめくるについては、民間のノウハウを活かしたサービスの向上・コストの削減を図るため、指定管理者制度を活用する。 ・各種講座や事業については、広報紙、ホームページ、フェイスブック、いなナビ等様々なツールを使用し、積極的な情報発信を行っていく。
----------------------	--	--

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	2-文化芸術の振興と伝統文化の継承

施策の内容	目指す姿	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が育まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組みます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実に努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	伊奈町美術展覧会観覧者数	500人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	未実施			
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,792	310	0	0	0	310

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、総合文化祭・美術展覧会を中止した。 ・伊奈町文化協会に加盟している各団体においては、条件(制限)付きで活動したり活動自体を中止した。 ・伊奈町文化協会と郷土芸能保存団体3団体に補助金を交付した。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・不特定多数の来場者・参加者が見込まれる事業やイベントは、クラスター発生の危険性を考慮した場合、開催できない状況にある。
	住民ニーズの変化について	・文化団体に所属している一部では、発表や活動の場を無くしたことにより学習意欲を失い始めている。
	展開した事業は適切であったか	・新型コロナウイルスの影響により計画した事業やイベントができなかった。
	施策を達成するうえでの障害について	・新型コロナウイルス感染症の動向により、施策の可否に影響が出る。

次年度以降における施策の具体的な方向性	・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業やイベントの規模を縮小して開催する。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	・県指定史跡となっている伊奈氏屋敷跡を、貴重な文化遺産と捉えており、地域住民と関係諸機関を交え協議・調整を行い、史跡の保存と活用を図りながら協働のまちづくりを推進する。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	3-文化財及び町史資料の保護・保存・活用

施策の内容	目指す姿	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が生まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組みます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実にも努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	指定文化財の数	25件
(2)	体験型イベントの参加者数	100人	
(3)			
(4)			

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	22件				
	(2)	未実施				
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	9,255	8,416	2,689	0	130	5,597

今年度の施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、令和元年度に実施した発掘調査について、発掘調査報告書刊行のための出土遺物整理作業を行った。 ・伊奈氏屋敷跡において保存目的の発掘調査を行った結果、障子堀を検出した。 ・『伊奈氏屋敷跡散策路マップ』を新たに作成した。 ・伊奈氏屋敷跡内に案内看板を6基設置した。全体で17基となった。 ・郷土資料館における企画展の実施により、町立郷土資料館の役割などを広く周知し、文化財に対する興味・関心を得られた。 ・『伊奈町史通史編Ⅲ』の刊行に向けて町史編さん委員会で内容の検討を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各種イベントは実施できなかった。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地内における開発に伴う試掘調査件数が増加している。 ・伊奈氏関連事業の展開により、伊奈氏(伊奈氏屋敷跡)の認知度が高まり、歴史や遺構についての問合せが増えている。 ・世代交代や住宅の建替えによる資料寄贈の依頼が微増している。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館の展示内容(展示品)の充実、パンフレットを希望する問合せが増加している。 ・伊奈氏屋敷跡の現状を活かして、遺構がわかりやすく、見やすくなるような見学環境をつくってほしいという問合せが寄せられている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈氏関連事業を展開した結果、伊奈氏やその周辺人物、伊奈氏屋敷跡についての問合せが増え、伊奈氏の認知度が高めることができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・町史編集事業の過程で収集した資料や寄贈資料、試掘(発掘)調査出土遺物などが増加し、資料の整理・調査が進んでいない。また、保管場所や展示場所が不足している。 ・公文書を歴史的資料として保存するための枠組みを整備する。 ・埋蔵文化財についての理解を深めるための周知を図る。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈氏屋敷跡の保存・整備・活用をより具体的に定める計画の策定を見据え、「伊奈氏屋敷跡保存活用計画」を基にした継続的な確認(発掘)調査等の各種調査を行う。 ・『伊奈町史 通史編Ⅲ』の刊行に向けた諸作業を行う。 ・過去の試掘(発掘)調査で出土した遺物の再整理(報告書の刊行含む)を実施する。 ・町立郷土資料館所蔵資料の整理作業を実施する。 ・『文化財保存活用地域計画』の策定を見据え、町内に所在する未指定を含めた文化財をリストアップし、調査していく。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈町の地理・自然・歴史あるいは町内所在の文化財などについて、もっと知りたいという住民のニーズに応えるため、資料の収集・整理、保存・調査、公開・活用を進めているところではあるが、より効果的・効率的に進めていく必要がある。また、取組の周知を図るための広報活動について、イベントごとにポスターやチラシ、簡易パンフレットを作成、配布している。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第7節 スポーツ及びレクリエーション活動の推進
施策名	1-スポーツを通じた元気なまちづくり

施策の内容	目指す姿	生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整っており、まちづくりや地域活動などに生かされています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽スポーツなど誰でも参加できるスポーツイベント等を開催するとともに、「スポーツ都市宣言」(昭和57年)から40年目を迎えることから、記念イベントについて検討します。 ● 各種スポーツ教室を通して、町民の健康づくりのサポートに努めます。また、種目については、住民のニーズに対応するよう検討します。 ● スポーツ・レクリエーションの活動団体によっては、会員の減少、後継者不足が課題となっているため、魅力ある事業の企画立案、具現化に努め、会員の確保、後継者の育成に取り組めます。 ● スポーツ施設は、屋内・屋外とも引き続き計画的な改修や用地の確保、暑さ対策に取り組めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	町スポーツ施設の利用者数	320,000人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	211,925人				
(2)						
(3)						
(4)						

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	48,480	41,713	0	0	1,502	40,211

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・真夏の暑さやゲリラ豪雨等の自然災害、新型コロナウイルス感染症の社会情勢に伴った施設運営ができた。 ・施設備品等、経年劣化している箇所については、計画的に更新することにより、利用者に対し、快適なスポーツ活動の場を提供することができた。 ・丸山スポーツ広場テニスコート(A・B面)において、砂入り人工芝コートへ改修を行い、雨天直後でも利用できることにより、利便性が向上し、利用者から好評をいただいた。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設の老朽化や備品等の経年劣化により計画的な更新が必要となっている。 ・老若男女が安心して活動できるスポーツ施設の提供が必要となっている。 ・新型コロナウイルス対策の徹底が求められる。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の充実を求める声が増えてきている。 ・各年代の方々が楽しめるスポーツ教室等の開催や町民運動会の内容の検討が求められている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種スポーツ教室、イベントが中止となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止を行いながら、実施できるイベントを模索していく必要がある。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した事業を展開するには、丸山スポーツ広場における用地取得や、施設の整備が課題である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の維持管理等を計画的に進める。 ・利用者のニーズに応じた安全な施設運営を行う。 ・町主催のスポーツイベントについては、関係団体と連携して事業内容の検討を図る。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、社会情勢に伴った、安全な施設運営を提供する。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な施設点検や利用者からの情報提供により、限られた予算の中で優先順位を決め、適切な維持管理を行った。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育て、はじける笑顔 輝くまち
節名	第7節 スポーツ及びレクリエーション活動の推進
施策名	2-スポーツ・レクリエーション事業の充実

	目指す姿	生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整っており、まちづくりや地域活動などに生かされています。
施策の内容	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽スポーツなど誰でも参加できるスポーツイベント等を開催するとともに、「スポーツ都市宣言」(昭和57年)から40年目を迎えることから、記念イベントについて検討します。 ● 各種スポーツ教室を通して、町民の健康づくりのサポートに努めます。また、種目については、住民のニーズに対応するよう検討します。 ● スポーツ・レクリエーションの活動団体によっては、会員の減少、後継者不足が課題となっているため、魅力ある事業の企画立案、具現化に努め、会員の確保、後継者の育成に取り組めます。 ● スポーツ施設は、屋内・屋外とも引き続き計画的な改修や用地の確保、暑さ対策に取り組めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	町スポーツ施設の利用者数	320,000人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	211,925人			
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	5,620	1,089	0	0	0	1,089

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室、イベントについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、スポーツに関わる機会を提供することができなかったが、新型コロナウイルスの影響により在宅が増える中で、町ホームページに健康体操の動画を掲載し、町民の健康維持に努めた。

施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種スポーツ教室、イベントが中止となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止を行いながら、実施できるイベントを模索していく必要がある。
施策実現のための課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各年代の方々が楽しめるスポーツ教室等の開催や町民運動会の内容の検討が求められている。 ・新型コロナウイルスの影響により、各種事業が中止となったが、各スポーツ、レクリエーション団体の活動のサポートを行うことができた。
施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した事業を展開するには、各教室の備品の充実や、各イベントへの参加意欲の機運を醸成していく必要がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町主催のスポーツイベントについては、関係団体と連携して事業内容の検討を図る。 ・全地区が気軽に参加できる町民運動会の在り方を検討する。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染が拡大する以前は、各種教室も全体で8割程度の申込者数があり、町民がスポーツと触れ合える機会を提供し、好評をいただいていた。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第5章_共につくる_未来につながるまち
節名	第5節_人権尊重と平和意識の啓発推進
施策名	1-人権・同和教育啓発の推進

施策の内容	目指す姿	誰もが互いの人権を尊重し、自分らしく生きる社会が形成されています。また、平和意識が世代を超えて継承されています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権意識の高揚を図り、人権啓発、人権教育の推進が必要であり、平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されるなど、人権に関する様々な法整備も進められており、一層の取組に努めます。 ● 人権講座は平成29年度まで平日昼間に開催していましたが、参加可能な層が限られてしまうことから、平成30年度より夜間・休日も開催しました。今後も開催日時や講師選定、周知方法などについても工夫し、多くの町民が参加できるように努めます。 ● 人権相談については、高齢者・外国人・LGBTなどの性的マイノリティなどに関する相談が増加してくることが考えられることから、相談体制を充実させ、新たなニーズに対応します。 ● 平和学習の内容は、次世代を担う子どもや町民に戦争の悲惨さを認識してもらえるものとし、平和に対する意識の啓発に努めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	人権講座などへの参加者数	400人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	未実施			
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,157	695	0	0	0	695

今年度の施策達成度	B	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施している人権講座とフレンドシップセミナーを中止とした。 ・代替事業として、広報いなにおいて「おうちで人権講座～みんなが幸せに生きるために～」と題した巻頭特集を組んだ。新型コロナウイルスの影響で発生した人権侵害等について掲載し、より多くの町民へ人権について自ら学び、考えるきっかけ作りができた。 ・新たな試みとして、町民等を対象に「人権啓発キャッチコピー」を募集し、人権意識の向上を図ることができた。 ・人権啓発広報紙「みどり」に、人権講座にて講演予定であった講師2名による人権コラムを掲載し、人権課題をより身近なものとして捉える機会を提供できた。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権に対する意識は高まりつつあるが、人権に関する問題も多様化している。 ・住民の生活様式の多様化に伴い、改めてお互いを尊重することの重要性について理解を図る必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、実施可能な事業形態を模索していく必要がある。
	住民ニーズの変化について	・例年実施している人権講座では参加者へアンケートを実施し、受講した感想のほか、関心のある人権問題やテーマを問うことで住民ニーズを調べている。
	展開した事業は適切であったか	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面形式の事業は中止としたが、広報紙を用いる等、新しい手段でより効果的な事業を展開することができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の多様化による幅広い人権問題に対応した講座の企画内容を研究していくほか、参加者の増加に繋がるような開催日程の設定や講座を再検討し、広報活動においても工夫をしていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑みながら、社会情勢に伴った事業を展開していく必要がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講座では、これまでの参加者アンケートを基にしながら、社会情勢の中で問題となるタイムリーな人権問題について幅広く取り扱う。 ・人権講座等の人権啓発事業は、より多くの参加者を得られるよう、引き続き広報いなや町ホームページへ掲載するほか、案内チラシやポスターを作成する等、広報活動に一層努める必要がある。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講座では、これまでの参加者アンケートを基に関心の高いテーマを取り入れている。 ・人権啓発ポスターや啓発品等の作成数や人権教育広報紙の掲載記事を凝縮し、コストの見直しを図っている。 ・人権啓発事業においては様々なツールを用いて情報発信に努めている。
----------------------	--